

文化講演会

—文化を築いた人々のキリスト教信仰—

講演日程（土曜、午前10～12時）（内容の詳細は裏面をご覧ください）

第1回 11月 5日 「化学の父 ロバート・ボイル」

第2回 11月12日 「パスカルの『パンセ』を読む

—「考える葦」から神への祈り—

第3回 11月19日 「化学の実験をしてみよう

—ボイルとパスカルの気圧実験は再現できるか—

第4回 11月26日 「ヴォーリス夫妻の生涯と建築」

場 所：神港教会（神戸市灘区山田町3丁目1-12）

定 員：30名（申込み多数の場合、抽選とさせていただきます）

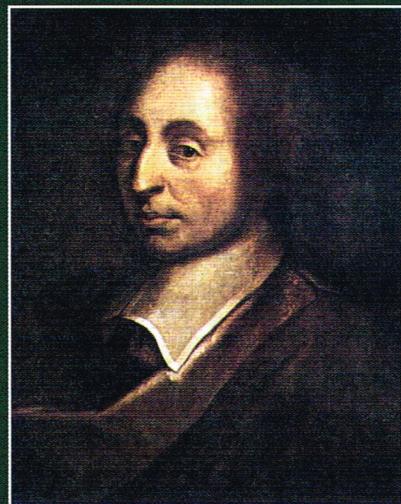
参加費：無料（要申込み）

申込み・問合せ：神港教会まで、電子メールにてご連絡ください。

（部分的に参加される場合は、参加希望の講演番号もお知らせ下さい）



ロバート・ボイル



ブーレーズ・パスカル



ヴォーリス夫妻

講演内容

第1回 11月5日「化学の父 ロバート・ボイル」

講師：松村道雄（大阪大学名誉教授・化学）

ボイル（1627-1691）の名は、ボイルの法則（気体の体積は圧力に反比例する）によって今も知られています。彼は様々なことを研究しましたが、実験に基づいた化学研究の基礎を築いた人として、「化学の父」と呼ばれています。また、信仰者、道徳家（moralist）としての著作も多く残しています。当時、ボイルは世界でもっとも著名な科学者（natural philosopher）でした。しかし、巨人ニュートン（ボイルを非常に尊敬していた）が登場し、彼の“栄光”は薄れてゆきました。そのボイルが、最近、再評価されつつあります。それは、今の時代に、「科学」のあり方が問われるようになったことと関係していると思います。ボイルの行ったこと、彼の考えていたことについてお話しさせていただきます。

第2回 11月12日「パスカルの『パンセ』を読む－「考える葦」から神への祈り－」

講師：森川 甫（関西学院大学名誉教授・フランス文学）

自然学者、社交人、キリスト者であったパスカル（1623-1662）の人間と神についての思索。

「人間とは一体、何者か？」、「何という怪物。宇宙の栄光であって屑」、「極大と極小の中間者」、「川の流れて漂う不安な存在」。しかし、「思考が人間を偉大にする」、「考える葦」、「それ故、よく考えるように努めよう。これが人間の生き方の原理だ」、とパスカルは言います。

「跪き、まず祈る」 祈りの人、パスカル。彼が胴衣に縫い付けていた文章は、「歓喜、歓喜、歓喜の涙。イエス・キリストという神」でありました。

第3回 11月19日「化学の実験をしてみよう

－ボイルとパスカルの気圧実験は再現できるか－

ボイルとパスカルは、真空や空気の性質に関して、共通する関心を持っていました。彼らが行ったとされる有名な実験をしてみましょう。

パスカルが「水」を用いて行ったとされる気圧の実験には、10メートルほどの「水柱」を用意する必要があり、技術的にもまた原理的にもできるはずがない、と否定的な見方をする人たちがいます。神港教会建物を利用して再現実験をし、そのことを確かめてみましょう。

第4回 11月26日「ヴォーリス夫妻の生涯と建築」

講師：杉本真一（大阪芸術大学准教授・建築学）

NHK 朝ドラ「あさが来た」のモデルとなった廣岡浅子と W.M.ヴォーリス（1880-1964）が親戚だったのはご存知でしょうか。クリスチャンであり女子教育への熱い思いを持っていた浅子と、1905年にキリスト教宣教の思いを持って英語教師として来日したヴォーリスにはいくつかのつながりが出来ました。ヴォーリスは、建築の設計をはじめとし、メンソレータムの製造・販売などのいろいろな事業をおこしましたが、子爵令嬢一柳満喜子（浅子の娘婿の妹）と結婚して帰化し、日本で亡くなりました。ヴォーリス夫妻のクリスチャンとしての生涯を建築作品の話を変えて、入門編として紹介いたします。

主催・会場 神港教会 657-0064 神戸市灘区山田町 3-1-12
(阪急六甲駅から北へ約 150m)

申込み・お問合せ
shinkouchurch@leto.eonet.ne.jp

教会ウェブサイト
<http://shinkou-kyoukai.org/>

